

第6回 本,書店,図書館にまつわる
エピソード大賞

書店部門賞

書店で見つけた目標

みやした りょうた
宮下 諒太さん

「この人が、自分が目標にすべき人だ」

そう、直感した。時は2022年6月3日、場所は鳥取市の今井書店。私はその時、その場所で、自分の目標とすべき人を発見したのだ。

直木賞作家の今村翔吾先生のサイン会が行われている日だった。私は先生の作品を何作か読んでファンになっていたのでもちろん参加した。

購入した本にサインをいただいている間先生と言葉を交わす機会があった。私は先生の本に感動したこと、自分も小説を書いていることを伝えた。そして、自分の書いたものをまとめた小冊子を手渡した。すると、先生は「僕がデビューした賞に応募しなよ」と言ってくださった。その時、私の目指す道の先に、この人がいるのだと直感した。あの言葉を思い出しながら、今日も小説を執筆し続けている。